

大学院特別講義

第 13 回口腔保健工学セミナー共催

(医歯学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

ハイブリッド型講義

聴講希望者は直接ご来場いただくか、Zoom 参加の場合は
QR コードまたは URL よりご登録の上、ご参加ください。



<https://zoom.us/meeting/register/nJMIavIJTfGZnqJrDsQncA>

記

演題：**REMS（超音波多重分光法）アップデート**

- X線被ばくがない、移動可能な骨密度測定 -

講師：**東洋メディック株式会社 野中 希一 先生**

日時：2025 年 10 月 9 日（木）17：00～19：00

場所：M&D タワー11F 大学院講義室 3 及び ZOOM オンライン講義

要旨：

REMS (Radiofrequency Echographic Multi-Spectrometry：超音波多重分光法) は、超音波を用いて腰椎および大腿骨の骨密度を推定する。欧州骨粗鬆症学会 (ESCEO) は 2024 年に REMS による骨評価に関するポジションペーパーを発表した。日本国内では、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2025 年版」が発刊され、その中に REMS の概要が追加された。REMS は X 線被ばくがなく移動が可能なため、測定が困難であったベッドサイドや訪問診療あるいは老健施設での検査が期待されている。また、REMS は被検者の骨折、変形性関節症、大動脈石灰化などの内因的アーチファクトの影響を受けないため、骨密度を過大評価しない。さらには、骨質評価による骨折リスクの評価も期待され、検査不足および診断不足の解決に資するものと推察される。骨質評価のパラメータも含め、REMS の最新状況を共有する。

連絡先：青木和広（口腔基礎工学分野 内線 4 6 4 1）

e-mail: kazuhiro_aoki.bhoe@tmd.ac.jp